

08・ベッドで愛情たっぷり騎乗位貝合わせセックス

トラック07『超あさま『しつけ』セックス』からそのまま続き。
とある年の初夏。六月下旬、二十四時ごろ。

場所は、主人公と唯為理の自宅内寝室。

主人公と唯為理、ベッドの上で、主人公が唯為理を後ろから抱きしめる形で座っている。
達したばかりの唯為理はぐつたりしており、主人公は『時間も時間だし、そろそろ休もうかな……』と思っていたが……。

唯為理が、うつとりした表情で見つめてくる。
明らかに『まだ足りない』と言っている。

SE1 唯為理が身体を動かす音

●中央 至近距離

【三回、ゆっくりと呼吸する】

はあ……はあ……はあ……

【呼吸が荒い】

【唇に軽く一回だけキスする】

ちゅ

【少し間をあけてから。嬉しそうに】

あのね、新しい漫画。いいアイディアが浮かんだかもしません。
ほんとに手伝ってくれちゃいましたね

【唇に軽く一回だけキスする】

ちゅ

いつも、ありがとうございます。

普段の私も、お仕事の事も全部理解してくれて……あなたより素敵な人なんていないで
す。

絶対一生離しません。

【唇に軽く一回だけキスする】

ちゅ

〈主人公〉

「ふふ……♥」

主人公、唯為理がいとおしくなつて、その髪の毛を撫でる。

唯為理は幸せそうに目を閉じて、自然に密着してくる。

それから『ここに差し込んでくれ』と言わんばかりに口を開けて、舌を見せてきた。もちろん主人公は、それに応える。

S E 2　主人公が唯為理の髪の毛を撫でる音

● 中央　至近距離

〔甘えた声で。髪の毛を撫でられて嬉しい〕

ふふ♥　いっぱい撫でて。撫でてもらうの大好きなんです……。

★〔※15秒※　キスする。〕

水気の多めの、軽めのキスを何度も繰り返したあと、舌を入れる】★★

★　ん♥　ちゅつ♥　ちゅ　ちゅ　ちゅ　ちゅ　ちゅぱつ♥　れるつ……くちゅつ♥　れる……え
れえれ♥　ちゅぱつ……ちゅるつ♥　」

主人公、唯為理のキスがあまりにも積極的なので、キスをしながら、平静じやいられない

くなつてくる。

今日は『唯為理が眠いだろうから』とおしまいにしようとしていた。
だが、本音を言えば、ここで終われるはずもない。

あのおとなしい子が、自分の前ではここまで乱れて、セックスの事しか考えられなくなつて、積極的になる。

主人公にとつて、これ以上興奮する要素はないし、それを実感できるなら、似たシチュエーションだつて、何度も繰り返したいほど好きなのだ。

……ああ。どうしよう。身体の真ん中熱くなつてきた。

つま先がどんな風になつてるかなんて、もう言うまでもないよ。

ごめんね。止まらなくて。

ごめんね。『理想的ないいお姉さん』になれなくて。『正しい所』で止まれなくて。

……でも、そんなわたしを好きだと言つてくれて、ありがとう。

〈主人公〉

「もう、唯為理ちゃんつたら……♥　さては、まだえつちし足りないんでしょ」

主人公、甘えた声で唯為理を誘う。

そうだ。全部唯為理のせいにしたい。

『自分をこんな気持ちにさせる唯為理が悪い』という事にして、明日の事を忘れて。もつとセツクスしたい。

そんな自分を、悪い女だと思うし、無責任だと思う。

だけど、唯為理は許してくれる。今はそれに甘えたくて、仕方ない。

●中央　至近距離

「悪びれずに」

えへ。……バレちゃってる。

【少し間をあけてから】

うん。

まだしたい、です♥

【甘くかすれた声で。今度は、少し申し訳なさそうに】

ほんと。性欲強くてごめんなさい。

セツクス大好きでごめんなさい……

【※マークまで甘えた声で】

でもしたい♥　するの♥

ぐちゅぐちゅのおまんことおまんこ♥　くつづけるの、するの♥

ね？ しょ？ ね？

今度は一緒に気持ちよくなろ？
あなたももう切ないでしょ？

おまんこ、気持ちよくなりたいでしょ？ ※

★ ☆【※15秒※ キスする。最初から舌を入れる、深めのキス】☆☆

★ ん……♥ んつ♥ ん♥ れろれろ……ちゅつ♥ ちゅぱつ♥ ちゅるつ♥ えれえ
れ……ちゅるつ♥ ちゅつ♥』

主人公、唯為理の言葉に答えるようにキスをする。

唯為理の誘いに嬉しくなつていて。

明日はきっと、寝不足でひどい事になるだろう。一日ダメにするかもしね。

だけど、それでもしたい。

自分たちはバカだ。先の事を忘れて、今交わりたいなんて、どう考えてもおかしいのに、
揃つて同じ事を考えて……実行しようしている。

SE3 唯為理が主人公に近づく音

●中央 至近距離

「すごく嬉しそうに。承認を得られたので
えへへ……♥ やつたあ♥

【少し間をあけてから】

上になりますね。
足。上げて下さい」

SE4 主人公がベッドの上で動く音

●中央 上 至近距離

【悪びれずに】

ふふ。ぱんつ脱がしちやいます」

SE5 唯為理が主人公の身体を動かす音

●中央 上 至近距離

【息づかいだけで表現する。あまり大げさにならないように。主人公の下着を見て驚く】

⋮

【少し驚いている】

今日のも、すごい。

【少し間をあけてから。すぐ興奮して】

なんか、どんどんえつちなのになつてゐる……♥

主人公、指摘されて照れる。

でも今は、恥ずかしがるよりも、素直に打ち明けたい気分だ。

主人公

「……♥

……今日も、じやないよ。実は毎日すごかつたの。

……こういうので気づくつて言うのも、妙な話だけど……。

わたし、唯為理ちゃんとお付き合いするようになつてから、前よりもずっと、自分に気を配る事が増えて。

『こんな事をしてみよう』『あんな事も試してみよう』って思えて。

その度に『わたしはこんなに唯為理ちゃんの事が好きなんだ』ってわかるの。

唯為理ちゃんのお陰で、自分の世界が、大きく変わつたつて思うんだ。

……その例がぱんつつていうのはね、ちょっと恥ずかしいけど……』

●中央 上 至近距離

「【※マークまで甘々に、でも少し真面目に、しつとりと】
ああ……嬉しいです。

私もですよ。

両想いになつてかなりたつのに、あなたの事、毎日もつと好きになるばかりです。

【少し間をあけてから】

毎日色んなあなたを知つて、少しずつ見方が変わつて。
意外だなつて思う事や、びっくりした事もあつたけど。
どんなあなたでも、新しい発見をする度に、もつと好きになるんです。

【少し間をあけてから】

人を好きになるのつて、こんなに幸せな事なんですね。
それを教えてくれて、ありがとう……♥

【照れ笑いする】

えへ♥

☆【※10秒※ キスする。お互いに求めあつて いる、甘いキス】☆

★ ん……♥ ちゅつ♥ ちゅ♥ ちゅつ……れろつ♥ ちゅるつ……れろれろ♥

【ゆっくり、三回呼吸する】

はあ……はあ……はあ……♥

SE6 唯為理が主人公の下着を脱がせる音

●中央 上 至近距離

〔すごく嬉しい〕

ふふ。やっぱりぱんつ、ぐしょぐしょだ。

〔甘くからかう〕

すつごい匂いする。やらし、すぎます。

〔額に軽く一回だけキスする〕

ちゅ
♥

〔少し間をあけてから〕

待つてくれて、ありがとう……
♥

〔少し間をあけてから〕

ふふ。脱げましたよ」

唯為理、主人公の下着を脱がせると、そのまままたがる。

SE7 唯為理が自分の性器を主人公の性器に重ねる音

● 中央 上 至近距離

「気持ちいい。またがり、性器がこすれ合う
ん……♥

【※マークまでゆっくり、うつとりと】

あつたかい♥

あなたのおまんこあつたかいです♥

【髪の毛に軽く一回だけキスする】

ちゅ♥

【少し間をあけてから】

さつきは自分も気持ちよくなりたかったのに、譲ってくれてありがとう。
いつも私の事を考えてくれて、ありがとう。

今度は、一緒に……。

【気持ちいいところに当たる】

ん♥」※

SE9 唯為理が自分の性器を主人公の性器に擦り付ける音

唯為理、主人公に跨つて、腰を動かし始める。

以後、腰をゆすりながら話す。

●中央 上 至近距離

「【※マークまで、低めに、ゆっくり、うつとりと】
んつ……ん♥ あ♥ はあ……ああ。んつ……ん♥

【声が高くなる】

あああつ……♥

【低めに、ゆっくり呼吸する。気持ちよくなりすぎないようにこらえる】

ふう……ふう……う♥ ああ……すごい。すごいです。

【甘くからかう】

ぬちゅぬちゅですね……♥

【うつとりと】

好きなとこ当たつたら、すぐイッちゃいそう。

【低めに、ゆっくり喘ぐ。気持ちよくなりすぎないようにこらえる】

あ……ああ……。あ♥

【主人公と目が合う。思わず笑顔になる】

ふふ

（主人公）

「唯為理ちゃん……手、つなご？」

●中央 上 至近距離

「すごく嬉しい」

うん♥ 手、繫ぐ♥

へへ……手、恋人繫ぎして。抱き合つて。

お股もくつつけたら、全部重なつてゐみたいです。

【低めに、ゆっくり呼吸する。ものすごく気持ちいい。
でも、気持ちよくなりすぎないようこらえる】

ふう……ふう……う♥ ああ……すごい。

【※マークまでゆっくり、うつとりと】

貝合わせ大好き……♥

〔少し間をあけてから〕

身体（からだ）の作り、同じだから。

一つにはなれないけど……。

くつつけてあなたを感じる。

擦（こす）り合わせて、一緒に気持ちよくなれる……♥ ※

【※マークまで、気持ちよくて、話しながらも喘ぎっぽくなっていく】

ああ、大好きです。

私、こんなんですけど。

すべきで、わがままで、いつも困らせてばっかりだけど……

あなたといられて幸せです。

愛してる。愛してる。愛します。一生あなただけです。あなたが私を変えてくれました。

一緒に気持ちよくなりましょう？ ※

★【※10秒※ キスする。最初から舌を入れる、深めのキス】★

★ んくつ……♥ ん♥ ん♥ ちゅるつ、ちゅぱつ♥ ん♥ んう……♥

【低めに、ゆっくり喘ぐ。気持ちよくなりすぎないようにこらえる】

ああ……うつ♥ はあ、はあ、はあ。

【声が高くなる】

あ、あ、あ♥

【また低めに戻して、ゆっくり呼吸する。気持ちよくなりすぎないようにこらえる】

はあ……ああ……はあ……はあ……♥

【うつとりと】

ねえ。気持ちいい？ あなたも気持ちいい？

〈主人公〉

「うん……♥ すつごいいい……♥ ほんとにすぐイツちやいそうだね」

●中央 上 至近距離

〔すごく嬉しい〕

ほんと？ 嬉しい……嬉しい……嬉しい
好き……大好きです……好き♥

〔低めに、ゆっくり呼吸する。気持ちよくなりすぎないようにこらえる〕
う。あ。はあ……ああ……はあ……ああ……

★〔※10秒※ キスする。最初から舌を入れる、甘々なキス〕 ☆

★ れろつ……♥ ちゅぱつ♥ ちゅぱつ♥ れろつ♥ くちゅつ♥ ん♥

★〔※30秒※ 低めに、吐息交じりに喘ぐ。〕

いくのをこらえているが既に苦しい〕 ★★★★

★ ……あ。う。あ……♥ ああ。あ、ああ……♥ はあ、はあ、はあ。ああつ……
あ、あ、あ。んつ……ん……♥ んうつ……！ あ。あ、ああ……♥ あ♥ あ♥
あ♥

〔低く喘ぐ。イきそうなのを必死にこらえる〕

ああーーっ……あ

♥

【低めに、早く、四回呼吸する。早くも限界が近い】

はあ、はあ、はあ、はあ

♥

【少し間をあけてから。もうイキそう。自分でも早すぎて照れている】

へへ。ごめんなさい。ほんとにすぐイッちやいそう。

【少し早口になる】

一緒にイキましょ？ 一緒に気持ちいいのがいい♥

（主人公）

「ん……♥ わたしも、もうちょっと……♥」

主人公、ゆっくり腰を動かしながら、唯為理にもう少し頑張るようにながむ。
お互い限界が近いとわかついていても、もう少し引き伸ばしたい。

●中央 上 至近距離

「イカせてもらえなくて切ないが、頑張る】

もうちょっと？ わかつた♥ 頑張る……♥

☆【※30秒※ 吐息交じりに喘ぐ。声は低めに、時々高くなる。

ほとんど限界で、どんどん呼吸が荒く、激しくなっていく】 ☆☆☆☆☆

★ はあ。ああ。あ♥ ううつ……あ♥ あつ。あ、あ♥ ああ……♥ あ♥ はーつ♥

はーつ♥ はーつ♥ あああ……あ♥ あ♥ あああ♥

【イきそう。少し早口で、うわごとのようになる】

もうイク♥ もうイク♥ 早くしていい？ ね？】

〈主人公〉

「まだダメ……♥ まだいけない♥」

● 中央 上 至近距離

【甘えた声で早口で。イかせてもらえなくて切ない】

なんでもえ？ まだ？ まだなの？ も無理い♥

お願ひ♥ イきたい♥ イきたい♥

★ 【※15秒※ 吐息交じりに喘ぐ。イクのを必死にこらえている。

イきたいのに、一緒がよくて、主人公に従順に従つて いるイメージ】 ☆☆

★ はつ、はつ……はつ……。ああ……ああ……あ♥ う。う、あ♥ ううつ……♥ あ

♥ あ♥ あ♥ あああ……♥ あ♥ う♥

あ

（主人公）

「んっ……♥ そろそろ……」

●中央 上 至近距離

「ものすごく嬉しい。今にもイきそう】

ほんと？ そろそろ？

【甘えた声で】

うん♥ 手繋いでこのままイこ♥

【甘い声で。少し早口で合計四回『イって』と言う】

イって。イってイってイって♥

【低い声で耐えようとするが限界『私も、もうイく』と言おうとするが言えない】

私も、も。

【ゆっくり、合計五回『イく』と言う。低めに甘い声で。次でイく】

いく。いく。いくいくいく♥

【ここでイく】

イ、ぐつ。

【低い声で喘ぐ。ものすごく気持ちいい】

ううううううつ……♥

【低めに、早く、四回呼吸する】

はー、はー、はー、はー……

【高い声で喘ぐ。もう一回気持ちいい波が来る】

あああ……
♥

【低めに、早く、四回呼吸する】

はー、はー、はー、はー……
♥

SE 10 唯為理がベッドで崩れ落ちる音

●中央 上 至近距離

「ものすごく嬉しい。うつとりと

へへ……気持ちいいのも……一つに、なれちゃいましたね♥ 大好き……。

【唇に軽く一回だけキスする】

ちゅ♥

ここでフェードアウトして終了。